

玉田 育子 氏 学位審査結果の要旨

主査：藤澤 順一

副査：藺田 精昭、野村 昌作

玉田氏は、ウシ結核菌に特異的な抗原 MPB64 を用いた活動性結核患者の診断について検討を行った。発展途上国において活動性結核の診断は重要で、フィールドにおいては簡便な診断法の開発が必要である。MPB64 抗原を作成し、結核患者の血清と尿を用い Dot-blot 法にて検討した。血清、尿ともに、結核患者、特に活動性結核患者に強い反応性を示した。血清と尿との比較で高い相関が認められ、感度及び特異度とも高く、本方法は活動性結核のスクリーニングに適していると考えられた。特に尿を用いた活動性結核の診断法としては、フィールドにおいては画期的な方法と考え、本研究は学位に十分値すると思われる。